

様式第1号(第6条関係)

アイデア提案書

提案番号			
提出年月日	令和 7年 1月 15日	受付年月日	令和 年 月 日
所 属	チームA	職名・氏名	
提 案 件 名	チオビタ運動公園利用者等をターゲットとした宿泊施設の整備と持続可能な運営手法		
提案の要件	☐ 市民サービスの向上に役立つもの ☐ 事務能率が向上するもの ☐ 経費の節減・収入の増加に資するもの ☐ 行政事務運営の革新となるもの ☐ 本市のイメージアップに係るもの ☒ その他公益上有効であるもの		
関係部署	チームA		
現状及び問題点	(実施の必要性について具体的に) 1. 運動公園は、以下の4点から活用が最大限に生かされていないと推察する。 (1) 平日の利用客が少ないこと (2) 近接する宿泊施設がないこと (3) 交通の便が悪いこと (4) 飲食できる場所及び購入できる場所がない 2. プールの老朽化が進行しており、平成25年度に実施した長寿命化を目的とした調査資料によると、撤去更新費用は約22億円、補修費では2.4億円を要する見込みであった。プールの長期的な維持管理を考慮すると、プールの利用料で賄える費用ではない。		
提案の内容	(実施の方法について具体的に) 1. 温水プールを改築し、50人を上限としたビジネスホテルを建てる。長寿命化事業であるため、スポーツ庁のスポーツ施設整備助成金（補助率1/3）及び公共施設等適正管理推進事業債（充当率90%）の活用を検討する。長寿命化の他、震災時の避難所としても使用できる設計とする。 2. 建設手法は、公民連携により民のノウハウを活用することとし、市が上限10億円の負担金を支出することで、財政負担を分担しつつ、市の意見を反映させる（玉野市は20億円を上限として負担金支出）。 3. ターゲットは、平日は出張等のビジネス客や研修や会議を実施する企業、土日祝日は合宿客、運動公園利用客とする。 （裏面へ続く）		

	4. 立地は、現在のプール棟の位置とし、全世代型対応のバリアフリーとし、地域に開かれたホテルをコンセプトとする。1階に25mプール、トレーニングルーム、憩いの場、コンビニをつくり、市民の利用可能なフロアとする。2階には誰でも入浴可能なサウナ付きの温泉とホテル受付及び企業研修等で利用可能な会議室をつくる。3階～5階は宿泊フロアとし、個室は海の景色を楽しんでもらうため4階～5階とし、3階は大部屋及び食事等を目的とした休憩室をつくる。各フロアのレイアウトは、民の意見も活用する。 5. 人件費及び食材費のコストを抑えるため、夕食は各自持込あるいは市内協力飲食店へのバス送迎による外食又は仕出し弁当とする。 6. 宿泊客へは備前焼のプレゼントを渡し、電子地域ポイントを付与する。 7. 公共交通機関利用宿泊客には、伊部駅からの送迎を行う。
期待される効果	(効果について数量等を具体的に) 1. 老朽化が進んでいるプールを改築することにより、市民、学校及びスイミングスクールが安心して長期に使用できる環境をつくる。 2. 宿泊客のチェックアウト後のポイント利用による経済効果。 3. 市内協力飲食店の売り上げ増加による地元への貢献。 4. 付近にコンビニがない近隣住民に対する利便性の向上。 5. 宿泊施設の建設による合宿客の安定利用及び利用客の増加。 6. 地元市民の雇用促進。 7. 本市の観光地のPR機会の増加。 8. 避難所としても使用できることによる地元住民への安心の提供。

※「提案番号」「受付年月日」の欄は、記入不要です。

※「職名・氏名」「提案の要件」の欄は、該当するものに「☒」してください。

※ 共同提案は、代表者以外の「所属」「職種」「氏名」を別添してください。